

北野高

ユニーク進路ガイダンス

一線で活躍する先輩に聞く

大阪府立北野高校(中垣秀隆校長)

「長」では将来の進路選択の一助とするため、一年生の総合的な学習の時間の中で様々な分野で活躍する先輩から直接話を聞く「進路ガイダンス——先輩に聞く」を実施。同校は府下屈指の進学校として知られているが、多くの進学校では大学への進学という直近の進路イメージはあっても、大学卒業後の生涯を見通し、実態に則した進路について情報を得て考える機会には余りないという。そこで、一年生が将来の職業として特に興味・関心を抱く職種をピックアップし、各分野で活躍する卒業生から直に話をしてもらうプログラムを考案。卒業生に対しては同窓会のホームページ、メーリングリストを通じて協力を依頼した。それに応じ、第一線で活躍する先輩から応募があった。職種は、「弁護士」「薬剤師」「医師」「国家公務員」「アナウンサー」「中学校教員」「I

Tベンチャー企業」「大学研究者」「企業研究社・企業経営」「翻訳・通訳」「国際線客室乗務員」「出版・編集」「総合商社マン」「新聞社」の十四種。最高八十三歳から二十代まで多様な年代が集まった。いずれも業界の一線で活躍する人で、ほとんどが自発的な申し出によるという。中には自らの職種が上位にランキングされていることに危惧を感じ、自ら買って出た著名な先輩(研究者)もいるという。先輩としての体験談のみならず、当該職種の現状について幅広い資料を準備するなど進路ガイダンスの趣旨を理解し、後輩に対するメッセージを豊富に発信するケースも多く、一年生にとっては実際に則しての貴重な経験となった。

先輩の一人、NHKの藤井彩子アナウンサーは、「最近の生徒は感受性が豊かだ。話すことに反応を返してくれ手心えを感じた」と感想を述べている。



2004.12.1

「夢に向かって歩んで」

北野高校卒業生が1年生にメッセージ



後輩に語る藤井アナウンサー

「ようこそ後輩たち、皆さんの夢に向かって力強く歩んで」と、大阪府立北野高校(中垣秀隆校長)は十月十九日、各専門分野で活躍している卒業生が現役の後輩にエールを送る「進路ガイダンス——先輩に聞く」を実施した。

進路は一年生の時から考えようという「総合学習」プログラムの一環で、先輩から職業選択の動機や仕事にまつわる具体的な話をし、

「夢」をもち、進路選択十五歳(八十期生)から十六加したい」と話す。

「夢」をもち、進路選択十五歳(八十期生)から十六加したい」と話す。

鎌田俊一教頭によると、これによると、①弁護士②薬

「ガイダンス」は今回初めて、の取り組んで、ホームページや同窓会ニュース等で入っていないことを知った卒業生に「後輩たちへ職務内容・選択の動機・参考になる具体的な話を」と呼びかけたところ、十二人が積極的に講師を引き受けてくれたという。